

7月5日(日曜日)に茅ヶ崎市防災リーダー養成研修に参加してきました。午前中に三角巾による骨折の固定・止血、毛布を用いた担架の作り方と輸送方法、心肺マッサージとAEDの使い方、簡易テントと簡易トイレの組み立てと使い方等の実技講習を受けました。午後に防災に関する座学とグループ討論を行いました。

午前中の実技講習では各リーダーと自分でできるまで繰り返し行うことができて大変良かったです。実技中に、リーダーに質問をしました。「道路等のインフラが使えなくて、救急車等の援助が得られない場合はどうするのですか？」疑問をぶつけました。そのリーダーは、意志の強い顔で、止まるまで止血して、痛い部分を固定して、毛布の担架を作って、サポートできる人間が病院まで絶対に運ぶのです。という回答がとても印象的でした。



午後座学では、南海トラフ・関東直下地震、震度6強を前提とし、災害初期、一次災害(津波、火災等)、避難、避難生活等の講義を受けました。

防災リーダー養成研修・参加報告

第三町内会 富塚 仁

香川ゴミ通信 (47)

環境部会

2026 香川ふれあいまつり

が終わって



8月1日、香川ふれあいまつりが少し猛暑が収まった中、多数の方々の参加により実施されました。飲んだり食べたり、イベントに参加したりと大賑わいでした。大勢の人が集うということは当然のごとくごみも出てきます。環境部会の部会員全員でその対応に追われました。

体育館側に2か所のゴミステーションを設置し、燃やせるごみ・ペットボトル・缶類の3種類の分別としました。家庭のプラごみは、本来ならば資源ごみとして再利用となる所、イベント会場ではプラスチックに付いた食べかす等の水洗いが出来ないため、今回も全て燃やせるごみとしました。

今回も2か所にゴミステーションを設置しましたが、皆さんの御協力により無事に分別が出来ました。これは、参加者のご家庭でのごみの分別が浸透している証拠であると思います。

最終的に70リットルのごみ袋で、燃やせるごみ22袋、缶4袋、ペットボトル6袋、月曜日(可燃)・火曜日(缶・ペットボトル)のごみ収集日に搬出しました。



資源物回収実績

2026年1月～2026年6月

収集量 (kg)	283,165
瓶、缶、古紙、PET、衣類	214,681
プラ、廃食用油、金属類	68,484
補助金 (円)	566,330

補助金=全収集量(kg)×2.0円

資源回収推進地域補助金

香川自治会として、資源回収推進地域補助金(1月～6月分)約56万6千円を受け取りました。資源物の分別回収にご協力をありがとうございました。

2026年4月～自転車に青切符導入!



1月に実施した自転車の「青切符(反則金)」制度の説明会が好評につき、2回目の説明会を開催いたします。最新のルールを一緒に学びましょう。

日時 10月29日(木) 午前10時～11時

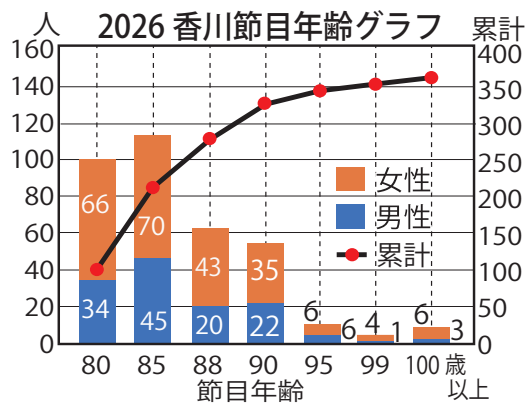
場所 香川自治会館 第一会議室

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

(防犯部会長 武田 久弘)

自転車ルール説明会

10月29日(木) 午前10時～



9月21日・80歳以上の節目年齢の方に、敬老の日のお祝いを各町



申請数 節目の年齢	第一		第二		第三		第四		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
満80歳(傘寿)	4	4	6	8	1	2	6	6	17	20
満85歳	1	2	5	6	3	6	5	5	14	19
満88歳(米寿)	2	2	6	3	1	3	3	3	12	11
満90歳(卒寿)	3	1	3	6	1	1	6	1	13	9
満95歳	1	0	1	1	2	1	0	1	4	3
満99歳(白寿)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
満100歳以上	1	0	0	0	0	0	2	2	3	2
小計	12	9	21	24	8	14	22	18	63	65
合計	21		45		22		40		128	

内会からお届けしました。香川地区での節目年齢の全該当者の人数は361名で、昨年より約10%減少しています。

敬老のお祝いをお届けした方の総人数は128名で、全該当者数に対する申請比率は約35%です。

(総務部会長 安江)



市消防本部の講話より

住宅防火・命を守る10のポイントとして4つの習慣と6つの対策についてお話がありました。

4つの習慣

- 1 寝たばこは絶対にしない
- 2 ストープの周りに燃えやすい物を置かない
- 3 コンロ使用中は火のそばを離れない
- 4 コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く

防災部会より

ふれあいまつりの夜の自転車の管理にも使えるバルーンライトを

NEWS 最近の自治会活動から